

宮古市

教育委員会 だより

郷土を誇り次代につなぐひとづくり

発行 宮古市教育委員会

〒027-8501

宮古市宮町一丁目1番30号

0193-62-2111

令和6年3月15日号

No. 25



新里小学校「リンゴ収穫体験」



地域学校協働活動を拡充します！



川井小学校「そばきり」

地域の特色を活かした学校づくりを目指す「コミュニティ・スクール」と連携して、地域が学校運営に参画する地域学校協働活動を小中学校で展開しています。

今年度は、市内14小中学校で、産業体験学習、地域文化の学習、図書館ボランティア、読み聞かせ、郷土芸能伝承、花壇などの学校環境整備、登下校の見守りなど、様々な活動を行いました。

例えば、地域の産業や文化を体験する、リンゴ収穫体験、そばきり、みずき団子づくり、新巻鮭づくり、門松づくりなどを、地域住民が指導やフィールドの提供を行うなどの協力をする事で、地域資源について学習を深めることができました。

来年度は実施校を増やしていくとともに、さらに活動を充実させていきます。

中学校の休日の部活動の地域移行に向けて取り組みます！

少子化などにより部活動が学校単位では難しくなっていることから、部活動の地域移行が、全国的な課題となっています。

地域移行をした場合の効果や課題を知るために、国からの委託を受けた実証事業である「地域スポーツクラブ体制整備事業」を行いました。

実証事業は、1月27日（土）にラグビー、28日（日）に陸上競技、2月4日（日）に軟式野球と女子バスケットボールの4種目を実施しました。

同事業には、各中学校の1～2年生42名が参加。地域団体の指導者による実技指導を受けました。また、これまで学校で行っていた活動を市の体育施設で行う場合、活動場所までの移動手段が課題であるため、参加者向けにシャトルバスの運行も行いました。

参加者アンケートでは、「他校の選手と練習できて楽しかった」「普段と違う練習で楽しかった」などの意見がありました。また、指導者からは、「平日の部活動との連携」や「選手のレベルに応じた指導者の育成」などの課題があげられました。

これらの意見等を参考に、来年度も地域移行に向けて、子どもたちのスポーツ活動が持続可能なものとなるよう取り組んでいきます。



「軟式野球競技練習会」

4年ぶりの開催！ 交流事業 多良間村×宮古市

令和5年12月5日～8日に、沖縄県多良間村児童生徒8名が宮古市を訪問し、受け入れ校での交流学习や市内施設での体験学習を行いました。コロナ禍により、直接交流ができていませんでしたが、今年度は4年ぶりに相互交流が可能となりました。

多良間村児童生徒の受入

1日目

北上山地民俗資料館を見学した後、市民交流センターにて対面式を行いました。宮古市内の交流校の児童生徒と笑顔で対面し、期待に胸を膨らませていました。

2日目

磯鶏小学校、千徳小学校、花輪小学校、崎山小学校、川井小学校、花輪中学校、重茂中学校、新里中学校に多良間村児童生徒が各校一人ずつ訪問し、共に学校生活を送りました。伝承活動を披露したり、楽しく全校で交流活動を行ったするなど、思い出に残る時間を過ごしました。多良間村の子どもたちは、「楽しかった」「明日もまた行きたい」と交流の様子を嬉しそうに話していました。

3日目

宮古市の代表児童生徒と共に市内の施設を見学しました。最初はうみねこ丸に乗船し、浄土ヶ浜を散策しました。水産科学館では、わかめの芯抜き体験や夢缶づくりを行いました。

田老の学ぶ防災では、災害に対する備えを真剣に学んでいました。

3日目
うみねこ丸に
乗船する多良間
村児童生徒



4日目

帰りの道中では、区界に雪が積もっていました。初めて触れる雪に感動し、最高の笑顔とともに宮古市の訪問を終えました。

交流を深めた子どもたちは、「今度は自分たちが歓迎したい」と、次の交流に意欲を高めていました。

宮古市児童生徒の訪問

令和6年

1月8日～13日に宮古市の代表である第33次多良間村派遣団が多良間村を訪れました。

多良間村までは、新幹線やモノレール、飛行機を乗り継ぎながらの約2300kmの道のりでした。多良間村に到着すると、たくさんの方々が派遣団を大歓迎してくれました。また、子どもたちは、交流児童生徒の家庭にホームステイをしましたが、交流期間中は家族のようにととても温かく接してくれました。

多良間小学校、中学校では、交流学习を行いました。子どもたちは、「みんなとてもフレンドリーだったので、緊張せずに話すことができた」「三線の体験など、多良間の文化にふれることができてとても勉強になった」と嬉しそうに話していました。

また、製糖工場の見学、記念植樹、さとうきびしぼり、アクセサリー製作など、様々な体験に目を輝かせながら取り組みました。中でも、シュノ

「宮古市の森」を訪れた児童生徒

ーケリング体験では、冬の海に入って泳いだり、海中の生き物を観察したりすることができ、「沖縄の海は、とても透き通っていて、いつまでも見ていたかった」と話していました。

最終日は、別れが辛くなり、涙する場面もありましたが、これまでの感謝の気持ちを伝えるとともに、これからも互いの絆は続いていくことを誓い、多良間村を後にしました。



問い合わせ 学校教育課(68-9118)

企 画 展

き

かく

てん

令和5年度埋蔵文化財センター

埋蔵文化財センターでは、令和6年1月13日から3月10日まで、令和5年度埋蔵文化財センター企画展「縄文人の耳飾り-その形と意思-」を開催しました。

縄文時代、石で作られた耳飾りや、土で作られた耳飾りを身に着けていたことが遺跡調査により分かっています。

石でできた耳飾りは、C字形に形を整え、光沢が出るまで丁寧に磨かれています。それに対し土でできた耳飾りは、鼓のような形をしたものや、キノコ形、滑車のような形、渦巻きの文様を描いているもの、透かし彫りといった様々な形やデザインが特徴です。

問い合わせ 埋蔵文化財センター(65-7527)

縄文人の耳飾り
～その形と意思～

石の耳飾り△



土の耳飾り△

展示を見た方からは「実際に身に着けたら重そう」「光っていて、縄文人にとって貴重だったのかな」と興味が尽きないようでした。

令和6年度
主な事業、補助金、制度などのお知らせ

〔教委〕総務課

・学校給食費の完全無償化

令和5年4月分から児童生徒の「学校給食費の完全無償化」を実施しています。

令和6年度も完全無償化を継続するとともに、安全・安心な学校給食の提供に努めます。

・生きる力を育む事業

市内小中学生を対象に、「子どもの健康な体」「豊かな心」「確かな学力」を育むための事業を行う民間団体等に対し、補助金を交付し支援を行います。

学校教育課

・奨学金貸付制度

令和6年度から、世帯収入や学業成績の要件を廃止し、奨学金を必要とする全ての方が利用しやすい制度になります。

学校種別	月額	入学時加算額
高校	4万円以内	10万円以内
大学等	8万円以内	
大学等 (特別奨学生)	16万円以内	30万円以内

・就学援助

経済的な理由により、学用品や通学用品などの支払いにお困りの児童生徒の保護者の方に、市が必要な経費の援助を行います。

生涯学習課・文化課

・児童生徒大会等参加費補助金

全国規模、東北規模で開催される芸術文化、スポーツに関する競技大会に参加する児童生徒に対し、補助金を交付し、移動に要する経費等を援助します。

・賞賜金制度

全国大会等に参加する市民の方、団体に対し、「お祝金」を交付し、その活動を応援します。



宮古っこ給食

郷土料理の
レシピ紹介

「けんちゃん汁」

■使用食材

豆腐、ごぼう、人参、
大根、わらび水煮、
角こんにゃく、きくらげ、
ねぎ、油、醤油

■作り方

いちょう切りや細切りにした人参、大根、
ごぼう、きくらげなどを油で炒め、くずし
た豆腐を入れてさらに炒め、だし汁を加え、
調味料で味をととのえる。

けんちゃん汁は、神奈川
県にある建長寺（けんち
ょうじ）が発祥の精進料
理です。名前の由来は、
建長寺がなまって「けん
ちゃん汁」になったとい
う説があります。



お寺で食べられていた汁物で、栄養
もあり体が温まり簡単に作られること
から、一般家庭に広がっていきました。
自然豊かで山の幸に恵まれた岩手県は、
わらび、ふきなどの山菜や、きくらげやし
いたけなどのきのこ類の産地であることも
あり、山菜やきのこ類を入れるのが特徴で
す。地域や季節によって具材や調理方法は
様々です。

宮古地域でも、冠婚葬祭や地域の行事な
どの際、古くから食べられてきました。

今回は、1月30日に実施した宮古っこ給
食の献立「けんちゃん汁」のレシピを紹介し
ます。

📞 問い合わせ 新里給食センター(79-1020)

市指定天然記念物

「チョウセンアカシジミ」と 小学生による保護活動の歩み

チョウセンアカシジミは、今から約2万年前
の氷河期に朝鮮半島から日本列島に渡り、その
後、日本各地に広まったとされています。しか
し、現在では新潟県、山形県、そして岩手県の
限られた地域にしか生息していません。岩手県
沿岸部では、宮古市から久慈市までがチョウセ
ンアカシジミの繁殖地となっています。

チョウセンアカシジミは、その限られた生息
地から希少なチョウであり、乱獲による絶滅が
危惧されました。

そのため、旧田老
町が昭和59年、
旧宮古市が昭和
61年に天然記念
物に指定し、保
護活動を行って
きました。

山口小学校 産卵数調査の様子



市教委による保護活動と並行して、旧亀岳小
学校が平成8年から本格的な保護活動を行って
きましたが、令和2年度に閉校となりました。
現在では、山口小学校に保護活動が受け継がれ、
3年生が成虫の観察会・産卵数調査・周辺の環境
整備などの活動を行っています。

令和元年から令和3年にかけて産卵数が減少し
ましたが、令和4年から徐々に回復してきていま
す。今後も小学生による保護活動を継続しながら、
活動の輪を広げていくことが求められます。

チョウセンアカ
シジミの成虫



市民文化会館の改修工事のお知らせ

・本年3月から10月末まで「屋根防水・外壁塗膜工事」を行います。

貸室利用はできますが工事の作業音等が発生する場合があります。

市民文化会館は昭和51年の完成から47年が経過しています。

これまで、東日本大震災災害復旧工事を含め二度の大規模改修工事を実施
しています。最近では、経年劣化による大ホールへの雨漏りが多発している
ことから工事を実施するものです。

利用者の皆さまへの安全・安心を図り、快適に利用できるよう
施設の維持管理に努めます。

📞 問い合わせ 文化課(65-7526)

